平成３０年度

事業報告書
決算報告書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

目　　次

第１表　事業報告書

1　設立目的及び概況……1
2　役員等の状況……1
3　理事会及び評議員会の開催……5
4　職員の状況……6
5　事業の実施状況……7

第２表　決算報告書

1　貸借対照表……３０
2　貸借対照表内訳表……３１
3　正味財産増減計算書……３２
4　正味財産増減計算書内訳表……３４
5　財務諸表に対する注記……３６
6　附属明細書……３７
7　財産目録……３８
8　収支計算書……３９
9　収支計算書内訳表……４１
10　収支計算書に対する注記……４４

第１表　事業報告書

平成３０年度公益財団法人広島観光コンベンションビューロー事業報告書
（平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで）

１　設立目的及び概況

(1) 設立目的

国内外からのコンベンション（各種会議・大会、展示会・見本市等をいう。）の誘致及び開催支援、観光客の誘致並びに観光資源の整備・開発等を行うことにより、広島県におけるコンベンション並びに広島市及びその周辺地域における観光の振興を図り、もって地域経済の活性化並びに国際相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア　設立年月日

平成７年１２月１日
（平成２３年９月１日　公益財団法人へ移行）

イ　基本財産

９億７，７８０万円

ウ　実施事業

(ｱ) コンベンションの誘致、開催及びそのための支援
(ｲ) コンベンションシティ広島、県内コンベンション施設等の広報及び宣伝
(ｳ) コンベンション・観光の企画、調査及び開発
(ｴ) コンベンション・観光関連情報の収集及び提供
(ｵ) 観光資源の整備・開発及び観光関係行事の実施
(ｶ) 観光客の受入態勢の整備
(ｷ) 観光宣伝・誘致活動の推進
(ｸ) 広島市観光施設等の受託運営及び附帯事業の運営
(ｹ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

２　役員等の状況

(1) 役員等の人数（平成３１年３月３１日現在）

理 事 長	１人
副理事長	３人
専務理事	１人
常務理事	２人
理　　事	２８人
監　　事	２人
評 議 員	２７人

(2) 理事・監事

ア　事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動事項
平成３０年　４月　１日	常務理事	黒木正之	就任
平成３０年　５月１８日	理事	中山太郎	就任
平成３０年　５月１８日	理事	杉山明史	就任
平成３０年　５月１８日	理事	尾﨑康隆	就任
平成３０年　５月３１日	理事	村上明雄	辞任
平成３０年　９月２６日	理事	長沼叡児	辞任
平成３０年１２月１４日	理事	來山哲	就任
平成３１年　２月　８日	理事	朴曜子	就任
平成３１年　３月　８日	理事	杉山明史	辞任
平成３１年　３月２５日	理事	安武郁夫	辞任
平成３１年　３月３１日	理事	阪谷幸春	辞任
平成３１年　３月３１日	理事	山田昌徳	辞任

イ　平成３１年３月３１日現在の理事・監事は次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理事長	深山英樹	平成２３年　９月　１日
副理事長	椋田昌夫	平成２５年　４月　１日
副理事長	仁田一郎	平成２３年　９月　１日
副理事長	下村純一	平成２４年　７月３１日
専務理事	北吉孝行	平成２９年　４月　１日
常務理事	倉石雅基	平成２９年　４月　１日
常務理事	黒木正之	平成３０年　４月　１日
理事	來山哲	平成３０年１２月１４日
理事	阪谷幸春	平成２９年　４月　１日
理事	山田昌徳	平成２６年　４月３０日
理事	大谷修	平成２５年　２月　５日
理事	草場孝義	平成３０年　３月　９日
理事	武井秀樹	平成２３年　９月　１日
理事	今井誠則	平成２３年　９月　１日
理事	原田秀二	平成２３年　９月　１日
理事	中山太郎	平成３０年　５月１８日

役　　職	氏　　名	就　任　年　月　日
理　　事	金　井　正　樹	平成２８年１０月　４日
理　　事	野　住　伸　貴	平成２３年　９月　１日
理　　事	香　川　基　吉	平成２３年　９月　１日
理　　事	沖　田　和　也	平成２７年１０月２３日
理　　事	前　　泰　弘	平成２３年　９月　１日
理　　事	荒　本　徹　哉	平成２７年１０月２３日
理　　事	丹　羽　明　夫	平成２８年　５月　６日
理　　事	土　橋　卓　也	平成２７年　６月１１日
理　　事	面　出　成　志	平成２６年　３月１８日
理　　事	木　下　飛　星	平成２７年１０月２２日
理　　事	水　内　美　輝	平成２９年１１月２８日
理　　事	井　上　一　男	平成２８年１０月　４日
理　　事	倉　田　和　典	平成２３年　９月　１日
理　　事	古　田　裕　三	平成２３年　９月　１日
理　　事	池　田　繁　実	平成２７年１０月２８日
理　　事	小　谷　泰　造	平成２３年　９月　１日
理　　事	尾　﨑　康　隆	平成３０年　５月１８日
理　　事	中　島　和　雄	平成２３年　９月　１日
理　　事	朴　　曜　子	平成３１年　２月　８日
監　　事	曽　川　祐　治	平成２６年　９月　３日
監　　事	隈　元　泰　治	平成２９年１１月２８日

(3) 評議員

ア　事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異　動　年　月　日	役　　職	氏　　名	異動事項
平成３０年　４月　１日	評　議　員	日　高　　洋	就　　任
平成３０年　４月２７日	評　議　員	信　原　　弘	辞　　任
平成３０年　５月１８日	評　議　員	青　山　光　弘	就　　任
平成３０年　５月１８日	評　議　員	平　瀬　春　男	就　　任
平成３０年　５月１８日	評　議　員	辻　　文　治	就　　任
平成３０年　５月１８日	評　議　員	藤　家　　豊	就　　任
平成３０年　６月２１日	評　議　員	伊　勢　正　文	辞　　任
平成３０年　６月２２日	評　議　員	百　田　和　之	辞　　任

異動年月日	役職	氏名	異動事項
平成３０年　６月２６日	評議員	竹中繁雄	辞任
平成３０年　６月２７日	評議員	迫谷　章	辞任
平成３０年　６月２７日	評議員	部谷俊雄	辞任
平成３０年　６月３０日	評議員	澤田　清	辞任
平成３０年１２月１４日	評議員	森田　茂	就任
平成３０年１２月１４日	評議員	北野　眞	就任
平成３０年１２月１４日	評議員	尾木　朗	就任
平成３０年１２月１４日	評議員	松村秀雄	就任
平成３０年１２月１４日	評議員	佐藤公俊	就任
平成３０年１２月１４日	評議員	安東則好	就任
平成３０年１２月３１日	評議員	小林隆夫	辞任
平成３０年１２月３１日	評議員	青山光弘	辞任
平成３０年１２月３１日	評議員	龍永直記	辞任
平成３１年　１月３１日	評議員	木原慎二	辞任
平成３１年　２月　８日	評議員	伊藤伸一郎	就任
平成３１年　２月　８日	評議員	村山邦孝	就任
平成３１年　３月３１日	評議員	青木信之	辞任
平成３１年　３月３１日	評議員	池上博文	辞任

イ　平成３１年３月３１日現在の評議員は次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
評議員 （評議員会会長）	青木信之	平成２５年　４月　１日 （平成２５年５月３０日）
評議員	越智光夫	平成２７年　６月　１日
評議員	佐伯安史	平成２９年　４月　１日
評議員	日高　洋	平成３０年　４月　１日
評議員	谷村武士	平成２３年　９月　１日
評議員	石井正朗	平成２７年　６月１１日
評議員	梅木敏明	平成２７年　６月１１日
評議員	伊藤伸一郎	平成３１年　２月　８日
評議員	藤岡成輝	平成２９年　３月１７日
評議員	村山邦孝	平成３１年　２月　８日
評議員	森田　茂	平成３０年１２月１４日
評議員	五弓博文	平成２９年　４月　１日

役　　職	氏　　名	就　任　年　月　日
評　議　員	平　瀬　春　男	平成３０年　５月１８日
評　議　員	小　杉　真　澄	平成２８年　５月　６日
評　議　員	千　玉　敏　之	平成２９年１１月１４日
評　議　員	石　田　文　典	平成２８年１０月　４日
評　議　員	西　川　雅　己	平成２３年１０月２１日
評　議　員	北　野　　眞	平成３０年１２月１４日
評　議　員	辻　　文　治	平成３０年　５月１８日
評　議　員	姫　野　　浩	平成２９年　５月２４日
評　議　員	尾　木　　朗	平成３０年１２月１４日
評　議　員	松　村　秀　雄	平成３０年１２月１４日
評　議　員	藤　家　　豊	平成３０年　５月１８日
評　議　員	佐　藤　公　俊	平成３０年１２月１４日
評　議　員	池　上　博　文	平成２８年１０月　４日
評　議　員	安　東　則　好	平成３０年１２月１４日
評　議　員	大　谷　博　国	平成２４年　３月２２日

３　理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

開　催　日　等	議　決　事　項
平成３０年　４月　１日 （決議の省略の方法）	１　常務理事の選任 ２　常勤役員の報酬月額の決定
平成３０年　５月２２日 （第１回理事会）	１　平成２９年度事業報告 ２　平成２９年度決算 ３　従たる事務所の移転 ４　評議員会の招集
平成３１年　２月２０日 （決議の省略の方法）	１　収支予算の補正 ２　役員報酬の期末手当及び勤勉手当支給割合の変更 ３　評議員会の招集
平成３１年　３月２６日 （第２回理事会）	１　資金の長期借入れ ２　平成３１年度事業計画 ３　平成３１年度収支予算

(2) 評議員会

開　催　日　等	議　決　事　項
平成３０年　４月　１日 （決議の省略の方法）	１　理事の選任 ２　評議員の選任
平成３０年　５月１８日 （決議の省略の方法）	１　理事の選任 ２　評議員の選任
平成３０年　６月　７日 （第１回評議員会）	１　平成２９年度事業報告 ２　平成２９年度決算
平成３０年１２月１４日 （決議の省略の方法）	１　理事の選任 ２　評議員の選任
平成３１年　２月　８日 （決議の省略の方法）	１　理事の選任 ２　評議員の選任
平成３１年　３月　１日 （決議の省略の方法）	１　収支予算の補正
平成３１年　３月２６日 （第２回評議員会）	１　平成３１年度事業計画 ２　平成３１年度収支予算

４　職員の状況

平成３１年３月３１日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区　分	部長	課長	主主任	主査	嘱託	再雇用	合計
企画総務部	(1)※	3	2	0	1		6
コンベンション振興部	1	4	1	4	1		１１
観光振興部	3	5	5	3	1		１７
合　計	4	１２	8	7	3		３４

※　企画総務部長は常務理事の事務取扱

５　事業の実施状況

【公益目的事業】

Ⅰ　コンベンション振興事業

１　情報収集事業

(1)　コンベンション調査の実施

ア　一般社団法人日本コングレス・コンベンション・ビューロー（以下「ＪＣＣＢ」という。）のコンベンション開催意向調査結果の活用　　５，２２５件

イ　会議主催者等へのアンケート調査の実施　　４２５団体

ウ　コンベンションカレンダーの更新

広島で開催予定の会議等の情報を３か月ごとに更新し、ホームページ上で公開した。

(2)　ＭＩＣＥ関連機関からの情報収集

国際会議やイベントを主催する１００か国１，１００の団体が加盟する国際会議協会（ＩＣＣＡ）、ＪＣＣＢ、独立行政法人国際観光振興機構（以下「ＪＮＴＯ」という。）及び一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（以下「ＪＳＴＡ」という。）の会員となることにより、国際会議を主としたＭＩＣＥ誘致のためのデータを収集し、国際会議誘致を推進した。

(3)　顧客管理システムの運用

コンベンション調査等により収集した情報を顧客管理システムで整理するとともに、これまで蓄積してきた学会等のデータを分析するなどして、効率的に誘致・支援活動を行った。

２　コンベンションの誘致・支援事業

コンベンション主催者等に対して広島のＰＲや各種の誘致・支援事業を展開し、広島でのコンベンション開催の促進を図った。

○平成３０年度コンベンション等開催状況

区　　分	国際会議	国内会議	その他	合　計
ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ件数	100 件 （目標 100 件）	514 件	47 件	661 件 （目標 500 件）
参加者延べ人数	163, 939 人	140, 462 人	187, 933 人	492, 334 人 （目標 500, 000 人）

【評　　価】　情報収集と個別誘致活動を積極的に行った結果、国際会議の件数は目標どおり、合計件数は目標を大きく上回ることができた。また、参加者延べ人数は、ほぼ目標を達成した。

(1)　誘致活動の実施

ア　グローバルＭＩＣＥ強化事業

グローバルＭＩＣＥ都市として、国際会議等誘致に関する事業を実施するとともに、ＭＩＣＥロゴマークを活用することにより、ＭＩＣＥ開催地としての広島市の魅力を広く訴求し、ＭＩＣＥの誘致促進を図った。

(ｱ)　テクニカルビジットの開発・運用

広島の産業技術見学・ビジネス交流のためのプログラムを開発・運用するために、国際会議等の運営事業者（以下「ＰＣＯ」という。）や会議参加者を対象にしたモデルコースの体験及びアンケート調査を行った。

【第１回】
- 開 催 日　平成３０年１２月６日（木）
- ツアー先　お好み焼き体験スタジオＯＫＯＳＴＡ、マツダミュージアム
- 参加者数　１２人

【第２回】
- 開 催 日　平成３１年３月７日（木）
- ツアー先　㈱東洋高圧（高温高圧化学装置）、㈱晃祐堂（化粧筆）
- 参加者数　１０人

(ｲ)　ユニークベニュー等の開発・運用

広島市の「ユニークベニュー等利用促進協議会」に参画し、ユニークベニューの体験プログラムの実施やユニークベニューのＰＲパンフレット及びＰＲ映像の作成、新たなユニークベニューの商品化を行い、ＭＩＣＥの受入態勢を整備した。

体験プログラムの様子

(ｳ)　広島大学（東広島キャンパス）での国際会議誘致・支援セミナーの開催

広島大学・東広島市との共催により、国際会議支援三者合同説明会を開催した。
- 開 催 日　平成３１年２月２０日（水）
- 会　　場　広島大学東広島キャンパス
- 内　　容　「広島大学の助成金制度、支援の紹介」
  「広島観光コンベンションビューローの会議開催支援について」
  「東広島市の会議開催支援について」
- 参加者数　１０人

(ｴ)　福岡市及び長崎市のコンベンション推進機関との誘致戦略調整会議の開催及び共同事業の実施

ａ　誘致戦略調整会議

（公財）福岡観光コンベンションビューロー及び（一社）長崎国際観光コンベンション協会と国際会議等の共同誘致に向けて情報交換を行った。

・開 催 日　平成３０年６月１３日（水）

・場　　所　（公財）福岡観光コンベンションビューロー

ｂ　共同事業：ＩＴ＆ＣＭ　Asia への共同出展

アジアで開催されるコンベンション・インセンティブ旅行関係のトレードショーに共同出展し、国際会議主催者等に宣伝・誘致活動を行った。

・開 催 日　平成３０年９月１８日（火）～２０日（木）

・場　　所　バンコク・コンベンションセンター

・参加者等　ＭＩＣＥ主催者等４３８人

【目　標】　商談件数　　２０件

【実　績】　商談件数　　３５件

【評　価】　目標を上回る３５件の商談を行い、国際会議１０件、企業ミーティング１０件、インセンティブツアー１５件の情報収集を行った。

(ｵ)　シャトルバスの提供

国際会議等の開催時に会場間等のシャトルバスを提供し、参加者の利便性向上を図った。

・提供件数　７件

(ｶ)　誘致ツールの作成

会議開催の誘致・支援活動を充実させるため、ＭＩＣＥ施設の詳しい情報やユニークベニュー等を紹介したＭＩＣＥプランナーズガイドを作成した。

・作成部数　５００部

イ　個別誘致活動の実施

国内外の会議関係者及び展示会・見本市の主催団体等に対し、誘致活動を行った。

(ｱ)　首都圏等での活動

主として首都圏に本部を置く団体、学術会議本部、企業等を中心に誘致活動を行った。

・訪問件数　２２７件

(ｲ)　広島県内での活動

県内の大学を始めとする各教育機関、各種企業・団体等を中心に誘致活動を行った。

・訪問件数　８９６件

ウ　海外コンベンショントレードショーにおける誘致活動

海外で開催される主要コンベンション・インセンティブ旅行関係のトレードショーに出展し、国際会議主催者等に宣伝・誘致活動を行った。

(ｱ)　ＩＭＥＸ　２０１８への出展

・開催時期　　平成３０年５月１５日(火)～１７日(木)
・場　　所　　ドイツ・フランクフルト
・参加者等　　国際会議主催者等　３，８８６人
【目　　標】　商談件数　２０件
【実　　績】　商談件数　３７件
【評　　価】　目標を上回る３７件の商談を行った結果、国際会議１８件、企業ミーティング３件、インセンティブツアー１６件の情報を得た。

(ｲ)　ＩＴ＆CM　Asia への共同出展　【再掲】

・開 催 日　平成３０年９月１８日（火）～２０日（木）
・場　　所　バンコク・コンベンションセンター
・参加者等　ＭＩＣＥ主催者等　４３８人
【目　　標】　商談件数　２０件
【実　　績】　商談件数　３５件
【評　　価】　目標を上回る３５件の商談を行い、国際会議１０件、企業ミーティング１０件、インセンティブツアー１５件の情報収集を行った。

(ｳ)　ＩＭＥＸ　Ａｍｅｒｉｃａ　２０１８への出展

・開催時期　　平成３０年１０月１６日(火)～１８日(木)
・場　　所　　アメリカ・ラスベガス
・参加者等　　国際会議主催者等　３，３２７人
【目　　標】　商談件数　２０件
【実　　績】　商談件数　３０件
【評　　価】　目標を上回る３０件の商談を行い、国際会議１５件、企業ミーティング５件、インセンティブツアー１０件の情報収集を行った。

エ　国際ＭＩＣＥエキスポ（ＩＭＥ２０１９）への出展

コンベンション開催の決定権を有するキーパーソンなどに対して、広島での開催を働きかけた。

・開催時期　　平成３１年２月２８日(木)
・会　　場　　東京国際フォーラム
・主　　催　　ＪＮＴＯ、ＪＣＣＢ
・出展者数　　９４団体・企業
・入場者数　　国際会議主催者、ＰＣＯ等　１，１３９人
【目　　標】　商談件数　２０件
【実　　績】　商談件数　２３件
【評　　価】　国内及び国際会議１６件、インセンティブツアー３件、イベント４件の情報を得た。

オ　キーパーソンの視察受入

国際会議及びインセンティブツアー等を扱うキーパーソンの視察受入を行い、広島の魅力を紹介することにより、広島での開催を働きかけた。

(ｱ)　A-SSCC 2020(半導体に関する国際会議)実行委員会共同委員長、同副委員長など主催者４人

・実施日　平成３０年１０月２３日(火)

(ｲ)　㈱コングレなどのＰＣＯやメディア関係者６人
(広島市が実施したユニークベニュー体験プログラム参加者)

・実施日　平成３０年１１月１４日(水)

(ｳ)　フランスのインセンティブ専門誌("Voyages & Strategie")の記者 パスカル ムジュノー

・実施日　平成３０年１２月１０日（月）～１１日（火）

(ｴ)　INERTIAL 2020(電気工学・電子工学に関する国際会議)組織委員会委員長、ＰＣＯなど３人

・実施日　平成３１年１月１０日（木）～１１日（金）

(ｵ)　RMWAPR(世界精神治療学会地域会議)の事務局長 リンポポ大学精神医学部長ソロモン教授(南アフリカ共和国)
(国際会議キーパーソン招請事業(Meet Japan)の参加者)

・実施日　平成３１年３月１日（金）～３日（日）

カ　広島産学公連携ＭＩＣＥ推進協議会の運営

関係団体、大学、行政機関等から選出された委員で構成された「広島産学公連携ＭＩＣＥ推進協議会」及び海外からのインセンティブツアー誘致を目的に設置した「インセンティブ部会」を運営し、広島におけるＭＩＣＥ誘致を推進した。

・広島産学公連携ＭＩＣＥ推進協議会　開催回数　２回
・同協議会 インセンティブ部会　開催回数　３回

キ　中国・四国地区コンベンション推進協議会の運営

コンベンション等に関する情報収集・交換及び推進に関する調整や研究を行うとともに、コンベンション等誘致のための研修会を実施することにより、職員の資質向上を図った。

(ｱ)　中国・四国地区コンベンション推進協議会 総会及び視察

・開催時期　平成３０年１０月４日（木）～５日（金）
・会　　場　くにびきメッセ（松江市）
・視 察 先　松江城、興雲閣、カラコロ工房
・参加者数　１３コンベンション推進団体３３人

(ｲ) 研修会及び情報交換会

・開 催 日　平成３１年3月１４日（木）～１５日（金）

・会　　場　ホテルニュータナカ（山口市）

・内　　容【講 演 1】

テーマ　国内会議の誘致・支援について

講　師　(一財)徳島県観光協会コンベンション事業課

係長　川又　健治

【講 演 2】

テーマ　国際会議の誘致について

講　師　松江コンベンションビューロー(一財)くにびきメッセ

事務局長　原　利一

・参加者数　１１コンベンション推進団体２１人

(ｳ) ＪＣＣＢへの委員派遣

・理事：１人、２回、東京都内

・ＩＭＥアドバイザリー委員：１人、３回、東京都内

(2) 支援活動の実施

ア コンベンション誘致助成事業

コンベンション主催者に対し、開催経費の一部を助成することにより、広島での開催を促進した。

(ｱ) ２０１８吃音・クラタリング世界合同会議

・開催期間　平成３０年7月１３日(金)～１６日(月)

・参加者数　５８０人（うち外国人２００人、参加国数３０か国）

・助成金額　２８９万円

(ｲ) 日本植物学会第８２回大会

・開催期間　平成３０年9月１４日(金)～１６日(日)

・参加者数　８１０人（うち外国人１０人、参加国数５か国）

・助成金額　２００万円

(ｳ) 第２２回視聴覚教育総合大会・第６９回放送教育研究会全国大会(広島大会)

・開催期間　平成３０年１１月１６日(金)～１１月１７日(土)

・参加者数　１，１００人（うち外国人２０人、参加国数５か国）

・助成金額　１２２万６千円

(ｴ) 第２０回商工会青年部全国大会

・開催期間　平成３０年１１月２１日(水)～２２日(木)

・参加者数　３，５００人

・助成金額　３００万円

イ　コンベンション開催準備資金貸付事業

コンベンション主催者に対し、開催に必要な準備資金の貸付を行うことにより、広島での開催を支援した。

研究支援担当専門職能団体の国際ネットワーク2020年世界大会

・開催期間　　令和２年５月２５日（月）～２８日（木）
・参加者数　　４５０人
・貸付金額　　３００万円

ウ　大規模会議等への支援

大規模会議等の開催を支援するため、観光親善大使やボランティアガイドの派遣、伝統芸能等の提供を行った。

(ｱ)　観光親善大使の派遣　　６件
(ｲ)　ボランティアガイドの派遣　　５件
(ｳ)　伝統芸能等の提供　　９件
(ｴ)　歓迎用看板の掲出　　１４件
　（ＪＲ広島駅１３件、広島空港１件）
(ｵ)　シャトルバス等の提供【再掲】　　７件
(ｶ)　記念品等の提供
　バッグ作成枚数（ビニール製）　２０，０００枚
　グルメ＆ナイトガイド　　５５，０００部
(ｷ)　広島市長メッセージの提供　　１５件
(ｸ)　広島市平和記念資料館観覧料免除　　１８件

(伝統芸能等の提供)

３　広報・宣伝事業

(1)　機関紙「ひろしま観光コンベンション」の発行

コンベンションの開催やポストコンベンション情報、観光情報、ビューローの活動状況等を掲載した機関紙「ひろしま観光コンベンション」を発行し、コンベンション主催者等への情報提供を行った。

号　数	発　行　月	発 行 部 数
第１１１号	平成３０年　７月	７，２００部
第１１２号	平成３０年１０月	７，２００部
第１１３号	平成３１年　１月	７，２００部
第１１４号	平成３１年　４月	７，２００部

(2) ホームページの運用

コンベンション施設情報、誘致・支援内容及びコンベンションの開催情報等をコンベンション主催者・賛助会員等へ提供した。

・アドレス　　https://www.hiroshimacvb.jp/
・ページビュー数　１４３，３１８ページビュー

4 調査・企画事業

(1) 経済波及効果調査の実施

コンベンション主催者及び参加者に対し支出に関するアンケート調査を行い、コンベンション開催に伴う経済波及効果を算出した。

（平成３０年度経済波及効果額）

総 支 出 額	経済波及効果額	経済波及倍率
１１２億２，５２０万円	１７８億９５４万円	１．５９倍

（算定は、参加者１人当たりの支出額（主催者の支出額を含む。過去５か年平均）３万６，９２５円及び広島市産業連関表により算定したその経済波及効果額５万８，５８４円のそれぞれの額に、平成３０年度コンベンション延べ参加者数３０万４千人（国際会議及び国内会議参加者に限る。）を乗じた額としている。）

(2) 観光・コンベンションセミナーの開催

観光及びコンベンションに関する知識・ノウハウの習得、接遇能力の向上を図るため、広島商工会議所との共催により、コンベンション・観光関連団体、企業を対象としたセミナーを開催した。

・開 催 日　　平成３１年２月１３日（水）
・会　　場　　リーガロイヤルホテル広島
・主　　催　　（公財）広島観光コンベンションビューロー、広島商工会議所
・内　　容　　テーマ　「未来の広島に求められる観光とＭＩＣＥ～新たなビジネス・ステージを目指す～」
　　講　師　廣 江　真（凸版印刷株式会社ソサイエタル・イノベーションセンターＭＩＣＥエバンジェリスト）

【実　　績】　参加者数　１７５人
【評　　価】　広島におけるインバウンド観光やＭＩＣＥへの取組について、具体的な事例を交えて分かりやすく御講演いただき、これらの知識や今後のあり方について習得することができた。

廣江講師

Ⅱ　観光振興事業

1　観光客の受入態勢整備事業

(1)　観光ボランティアガイド活動促進

観光ボランティアガイドによる「無料ガイドの日」を継続実施し、観光客の受入態勢を整備した。

・実施場所　平和記念公園、縮景園、広島城
・実施回数　２４回
・案内客数　２，３５３人

(2)　外国人観光客受入支援の実施（「インバウンド受入ビジネスフェア」の開催）

外国人観光客の受入に取り組みたい広島の企業・店舗とインバウンド向け事業を行っている企業等をつなぐ「インバウンド受入ビジネスフェア」を開催し、広島のインバウンド受入態勢の強化を図った。

・開 催 日　平成３０年７月４日（木）～５日（金）
・会　　場　広島国際会議場
【目　標】　出展小間数　３４小間
来場者数　１，５００人
出展者へのアンケートで「成果があった」とする商談件数　２５０件
【実　績】　出展小間数　３４小間
来場者数　１，３９０人
出展者へのアンケートで「成果があった」とする商談件数　１０８件
【評　価】　天候不良により、来場者数は目標に達しなかった。また、「成果があった」とする商談件数も目標に達しなかったが、来場者アンケートでは、９６．６％の人が「次回もぜひ参加したい」「都合があえば参加したい」と回答するなど好評であった。

講演会（トークディスカッション）

展示商談会

(3)　観光客受入向上セミナーの開催

観光客受入の意識向上とビジネス化への機運醸成を図り、観光客受入に関する最新情報を関係者間で共有するため、セミナーを開催した。

ア　第１回

・テ ー マ　　店舗の遊休スペースを活用した、観光インフラの構築
・講　　師　　ｅｃｂｏ株式会社　代表取締役社長　工藤　慎一
・開 催 日　　平成３０年１０月３１日（水）
・会　　場　　広島商工会議所会議室
・参加者数　　４８人
【評　価】　参加者アンケートでは、８５％の人が「大変良かった」「良かった」と回答するなど好評であった。

イ　第２回

・テ ー マ　　世界目線で考える。ナイトタイムエコノミーの作り方
・講　　師　　ニューポート法律事務所　齋藤　貴弘
ORINGINAL Inc 代表取締役　伏谷　博之
JTBｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ事業部ﾏﾈｰｼﾞｬｰ　滝川　貴志
・開 催 日　　平成３１年２月２７日（水）
・会　　場　　広島商工会議所会議室
・参加者数　　６５人
【評　価】　参加者アンケートでは、８８％の人が「大変良かった」「良かった」と回答するなど好評であった。

２　観光資源整備・開発事業

(1)　広島市観光振興ネットワーク会議の運営

観光情報の共有や情報交換を行い、観光関係者の連携を図った。

・開催回数　１回（平成３０年４月１９日(木)）

(2)　広島湾ナイトクルージングの実施

観光客の誘致、滞在時間・宿泊数の延長及び広島湾周辺の賑わいづくりに資することを目的として、船舶事業者等で構成する実行委員会において、「広島湾ナイトクルージング」を実施した。

・期　　間　　平成３０年７月１４日(土)～９月３０日(日)
・航 路 数　　６航路
・乗船者数　　１２，１１４人

3　観光宣伝・誘致活動推進事業

(1)　観光客誘致プロモーション活動

ア　国内観光客への宣伝・誘致活動

(ｱ)「ツーリズムＥＸＰＯジャパン２０１８」への出展

・開催期間　　平成３０年9月２０日(木)～２３日(日)
・会　　場　　東京ビッグサイト
・来場者数　　２０７，３５２人
※広島県観光連盟、広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会との共同出展

(ｲ)　宮島・広島・岩国・呉・廿日市共催首都圏観光宣伝隊への参加

・期　　間　　平成３０年１２月３日（月）～5日（水）
・場　　所　　東京都内
・訪問件数　　４９件

ツーリズムＥＸＰＯジャパン

宮島・広島・岩国・呉・廿日市共催首都圏観光宣伝隊

イ　外国人観光客への宣伝・誘致活動

オーストラリアにおいて現地での訪日旅行促進のセミナーに参加し、発地マーケットの情報収集やプロモーション活動に取り組んだ。なお、欧州旅行見本市への出展については、他事業との日程調整が叶わなかったことから、参加を見送った。

また、国内では商談会、フォーラム等に参加し、訪日旅行取扱旅行会社を中心にプロモーション活動を行った。

あわせてホームページ、フェイスブックなども活用し、広島の魅力をＰＲした。

名　　称	時　　期	場　所
ＶＩＳＩＴ　ＪＡＰＡＮトラベル&ＭＩＣＥマート２０１８参加 ・商談件数　３５件	平成３０年 ９月２０日(木) ～２１日(金)	東京都
第２０回ＪＮＴＯインバウンド旅行振興フォーラム参加 ・商談件数　　８件	平成３０年 ９月３日(月)	大阪市

名　　称	時　期	場　所
２０１８中国地方インバウンドフォーラム参加 ・商談件数　　７件	平成３０年 ９月１３日(木)	鳥取県 西伯郡
ＪＮＴＯ Japan Road Show 2018 参加 ・商談件数　８０件以上	平成３０年 １２月３日(月) ～８日(土)	オーストラリア
関係機関への誘致活動及びマーケット情報収集		
せとうちDMO個別情報交換会・意見交換会	平成３０年１１月１３日（火）	愛媛県 伊予郡
ＪＮＴＯフランス・英国市場情報交換会	平成３０年１１月３０日（金）	福岡市
ＪＮＴＯ米国・イタリア市場情報交換会	平成３０年１２月１９日（水）	東京都
ＪＡＬせとうち宝しまキャンペーン２０１８（下期）	平成３１年 ３月１４日（木）	三原市

ＪＮＴＯ Japan Road Show 2018
(ブリスベン会場)

ＪＮＴＯ Japan Road Show 2018
(シドニー会場)

(2)　地域観光の推進

観光情報を発信する祭り・イベント等に補助し、地域観光の推進を図った。

ア　第３１回湯の山温泉桜まつり

・開 催 日　　平成３０年４月７日(土)～８日（日）
・会　　場　　クアハウス湯の山前特設会場ほか
・実施主体　　湯の山温泉まつり実行委員会

イ　第２８回湯来温泉ホタルまつり

・開 催 日　　平成３０年６月２３日(土)～７月１日(日)
・場　　所　　湯来交流体験センター
・実施主体　　湯来温泉観光商工同業組合

(3)　全国観光土産品公正取引協議会・２０１８年全国観光土産品連盟広島大会への助成

第５３回全国観光土産品公正取引協議会・２０１８年全国観光土産品連盟広島大会(１０月１１日(木)～12 日(金))に助成し、観光産業の振興を図った。

(4) 観光宣伝物作成・広告掲出

広島の観光パンフレット等を作成して配布し、広島への観光客誘致を推進した。

なお、旅行雑誌等への広告掲載は、費用対効果が認められないため、取りやめた。

パンフレットの名称	言　語	数　　量
きんさいひろしま	日本語	―
	英語	―
ようこそ！広島へ観光ガイドマップ	日本語	２９０，５００部
	英語	８０，０００部
	中国語簡体字	１０，０００部
	中国語繁体字	１０，０００部
	フランス語	７，２００部
	スペイン語	１３，８００部
	イタリア語	７，２００部
	ドイツ語	６，９００部
	ロシア語	２，４００部
	ハングル	―
	タイ語	―

※　「きんさいひろしま」「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」ハングル版・タイ語版は在庫があったため、今年度は作成していない。

(5) 親善交流

観光親善大使を含む訪問団を結成して広島市と相互交流のある都市を訪れ、行政・メディア・観光協会等関係諸機関への観光ＰＲを実施し、都市間交流の促進を図った。

また、広島への訪問団の受入を行い、交流を深めた。

なお、予定していた「第４０回北広島市親善訪問」（平成３０年９月６日(木)～９日(日)）は、出発当日に発生した北海道胆振東部地震の影響により中止となった。

ア　親善訪問

名　　称	時　　期	内　　容
第 31 回浜田市親善訪問	平成 30 年 8 月 4 日(土)	広島市観光政策部観光プロモーション担当課長を団長に、広島観光親善大使 1 名ほか計 3 名が浜田市を訪問し、「石州浜っ子夏まつり」会場で、広島市の観光ＰＲを行った。

名　　称	時　　期	内　　容
第38回沖縄親善訪問	平成30年8月31日(金)～9月3日(月)	広島観光コンベンションビューロー常務理事を団長に、広島観光親善大使2名ほか計4名が沖縄市を訪問し、沖縄市長、マスコミ等を表敬訪問するほか、「沖縄全島エイサーまつり」会場で、広島市の観光ＰＲを行った。
東温市親善訪問	平成31年1月30日(水)～31日(木)	広島観光コンベンションビューロー理事長ほか計4名で東温市を訪問し、東温市長表敬訪問及び坊ちゃん劇場の視察を行った。

イ　訪問団受入

名　　称	時　　期	内　　容
広島東洋カープ沖縄協力会	平成30年5月18日(金)	沖縄市長、沖縄商工会議所会頭ほか計14名の表敬訪問を受け入れた。
北広島市子ども大使	平成30年8月5日(日)～6日(月)	北広島市内の小・中学校の代表生徒14名(子ども大使)及び引率者4名の計18名の訪問を受け入れ、平和記念式典、とうろう流し、宮島、お好み焼体験等を案内した。
東温市観光ＰＲキャラバン	平成31年1月18日(金)	東温市長ほか計8名の表敬訪問を受け入れた。

沖縄親善訪問

北広島市こども大使受入(お好み焼体験)

(6) 観光親善大使による観光宣伝活動

広島市の代表にふさわしい意欲あふれる観光親善大使３人を選考し、観光関連事業において観光ＰＲを行うことにより、広島への観光客誘致を推進した。

【目　　標】　派遣件数　　６６件
【実　　績】　派遣件数　　５８件
【評　　価】　派遣件数は目標達成に至らなかったが、観光親善大使を派遣し観光ＰＲを行うことにより観光客誘致を推進した。

ひろしまフラワーフェスティバル

広島国際アニメーションフェスティバル

4　観光施設管理運営等受託事業

(1)　観光案内所の運営

広島市観光案内所を年中無休で運営し、広島市及びその周辺地域を訪れる国内外の観光客の利便性の向上を図った。

ア　設置場所及び営業時間

(ｱ)　平和記念公園内
１０：００～１７：００
（8月5日　８：３０～２０：００、8月6日　７：３０～２０：００）
※　レストハウスの改修工事に伴い、平成３０年４月に平和記念資料館に設置した臨時案内所から平和記念公園内の仮設の観光案内所に移転し、観光案内を行った。

(ｲ)　紙屋町地下街（シャレオ）
１１：００～１７：００
※　上記の両観光案内所は、ＪＮＴＯ（日本政府観光局）が広域案内かつ常時英語対応可を要件とする「外国人観光案内所」カテゴリー２として認定されている。

イ　案内件数

場　　所	案内件数	うち外国人対応
平和記念公園内	２７，６２２件	１２，９８０件
紙屋町地下街（シャレオ）	１２，７２４件	３，５１１件
合　　計	４０，３４６件	１６，４９１件

(2)　来広観光客等動向調査

来広観光客の質的構成や動態をアンケート等により調査するとともに、広島市の観光情報に係る観光概況データを収集した。

a　来広観光客アンケート調査

年4回（6月、8月、１０月、１２月）、広島市を訪れた観光客を対象にアンケート調査を行った。（回収数　７１１人）

b　入込観光客調査

宿泊、観光施設及び交通機関等を対象に入込観光客調査（３０５件）を行った。

(3)　ひろしまライトアップ事業の運営その他

「ひろしまドリミネーション」、「ひろしまフラワーフェスティバル」、「広島みなと 夢 花火大会（台風の影響により中止）」等の事務局分室を設置・運営し、広島への観光客誘致を推進した。

名　　称	主　催	時　　期	備　考
２０１８ひろしまフラワーフェスティバル	ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会	平成３０年５月３日(木)～５日(土)	観客数：約１５８万人
七夕まつり	広島祭委員会・広島市商店街連合会・中国新聞社	平成３０年７月１日(日)～７月１０日(火)	
広島湾ナイトクルージング	広島湾ナイトクルージング実行委員会	平成３０年７月１４日(土)～９月３０日(日)	(再掲)
ピースメッセージとうろう流し	広島祭委員会・広島市商店街連合会・中国新聞社	平成３０年８月６日(月)	
広島城大菊花展	広島祭委員会・広島菊友会・広島市・中国新聞社	平成３０年１０月２７日(土)～１１月１１日(日)	来場者数：約１９万人
ひろしまドリミネーション２０１８	ひろしまライトアップ事業実行委員会	平成３０年１１月１７日(土)～平成３１年1月３日(木)	

※「２０１８広島みなと　夢　花火大会」は、台風１２号の影響により事業を中止した。
※「大文字まつり」は、広島市８・２０豪雨災害の復旧の目途が立っていないため、事業を中止した。

ひろしまフラワーフェスティバル

ひろしまドリミネーション

(4) ホームページの運営事業

広島広域観光情報サイト「ひろたび（https://www.hiroshima-navi.or.jp/）」及び「Explore Hiroshima」を運営するとともに、ＳＮＳを活用した国内外への最新情報の発信により、広島への観光客誘致を推進した。

・種　　類　日本語版、英語版、中国語版（簡体字版・繁体字版）ハングル版、フランス語版、ドイツ語版、タイ語版
全言語スマートフォン対応

・訪問者数　　２２８万人

・ページビュー数　４６１万ページビュー

(5) フィルム・コミッション事業の運営

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を行い、広島発の映像情報の発信などにより、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進した。

なお、当初計画では国際フィルム・コミッショナーズ協会(AFCI)トレードショー（平成３１年２月：サンタモニカ）のアジア・フィルムコミッション・ネットワーク(AFCNet)のブースに参加する予定としていたが、AFCNet が参加しないこととなったため、ロケーション・エキスポ(平成３０年１１月：ロサンゼルス)に変更し、ロケ撮影の誘致活動を行った。

また、今年度は、広島国際映画祭からの依頼により、同映画祭と交流のある「ファジル国際映画祭(イラン)」に参加し、ロケ撮影の誘致活動を行った。

ア　ロケ撮影の誘致

	事　業　名	時　期	場　所
映像関連イベント	ファジル国際映画祭参加	平成３０年４月２３日(月)～２７日(金)	テヘラン(イラン)
	ジャパン・コンテンツ・ショーケース（東京国際映画祭関連)参加	平成３０年１０月２３日(火)～２５日(木)	東京都
	ロケーション・エキスポ(アメリカン・フィルム・マーケット内)参加	平成３０年１１月３日(土)～６日(火)	ロサンゼルス(アメリカ)
	広島国際映画祭の参加映像制作者への誘致活動	平成３０年１１月２３日(金)～２５日(日)	広島市
	ジャパン・フィルムコミッション(JFC)全国ロケ地フェア出展	平成３１年1月２４日(木)	東京都
映像制作者訪問等による誘致活動		随時（４３件）	東京都、広島市等

【実　績】 誘致件数　１２件（内訳：映画４件、ﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ映画１件、テレビドラマ１件、テレビ番組４件、その他２件）

イ　ロケ撮影の支援

ロケ地情報の提供、施設の使用調整・許可申請手続、ボランティア・エキストラの募集、ロケハン同行・ロケ撮影立会等を行い、ロケ撮影を支援した。

区　　分	支援件数
映画	１５件
テレビ番組	１１５件
CM	２６件
その他（プロモーションビデオ、雑誌、写真集等）	７１件
計	２２７件

※　主な支援作品：映画「Boys Don't Cry」、映画「記憶屋」、テレビドラマ「夕凪の街 桜の国2018」、テレビドラマ「この世界の片隅に」、Webﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝﾋﾞﾃﾞｵ「Real Hiroshima Now」（ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ）　ほか

テレビドラマロケ撮影

ロケーション・エキスポ(ﾛｻﾝｾﾞﾙｽ)でロケ誘致

ウ　ロケ撮影環境の整備

市民に対しロケ撮影に関する講演会やパネル展等の開催及びメールマガジンによる情報発信を行い、フィルム・コミッション事業に対する理解・協力を促すとともに、関係支援団体とも連携を図って、ロケ撮影のしやすい環境づくりの醸成を図った。

(ｱ)　広島フィルム・コミッションＰＲパネル展の開催

支援アニメ映画「この世界の片隅に」の原画や支援映画「恋のしずく」のロケ撮影風景写真等の展示

会　場：中区役所１階ロビー、西区役所１階ロビー、映像文化ライブラリー、二葉公民館、仁保公民館、古田公民館、安東公民館　ほか

(ｲ)　広島国際映画祭でのＰＲ

a　広島に関連する５作品の上映及びゲストトークショー並びに片渕須直監督(ｱﾆﾒ映画「この世界の片隅に」)のワークショップ開催

b　広島フィルム・コミッションＰＲパネル等の展示

エ　映像コンテンツ販売の支援

広島を題材に撮影された映像コンテンツの販売促進の支援を行った。

事　　業　　名	時　　期	場　所
ジャパン・コンテンツ・ショーケース（東京国際映画祭関連)参加	平成３０年１０月２３日(火)～２５日(木)	東京都
ロケーション・エキスポ(アメリカン・フィルム・マーケット内)参加	平成３０年１１月３日(土)～６日(火)	ロサンゼルス(アメリカ)

オ　フィルム・コミッション間の連携

国際フィルムコミッショナーズ協会(AFCI)、アジア・フィルムコミッション・ネットワーク(AFCNet)、ジャパン・フィルムコミッション(JFC)、フィルム・コミッション中国ブロック会議に参加し情報交換等を行い、フィルム・コミッション間の連携強化を図った。

(6)　観光宣伝物作成・広告掲出

広島市が設置する街角観光案内所「トラベルパル」及び「トラベルパル・インターナショナル」で配布する観光パンフレットを増刷した。

パンフレットの名称	言　語	数　　量
ようこそ！広島へ観光ガイドマップ	日本語	７８，５００部
	英語	６０，０００部
	中国語簡体字	３，６００部
	中国語繁体字	３，６００部
	フランス語	４，８００部
	スペイン語	９，０００部
	イタリア語	１，８００部
	ドイツ語	３，６００部
	ロシア語	１，２００部
	ハングル	－
	タイ語	－

※　ハングル版・タイ語版は広島市に在庫があったため、今年度は作成していない。

(7)　平和大通りのにぎわいづくり

ア　平和大通りにぎわいづくり検討会議の運営

当該検討会議を主管し、平和大通りと都心部における新たなにぎわいづくりの促進及び都心部の活性化と回遊性の向上を図るため検討を進めるとともに、先進事例調査を実施し、にぎわいづくりの担い手となる組織の設立に向けた検討に反映した。

(ア) 検討会議開催回数　３回
平成３０年４月２３日(月)・７月３１日(火)、平成３１年２月１８日(月)

(イ) 先進事例調査
・参加者数　　１５名
・実 施 日　　平成３０年８月２８日(火)～２９日(水)
・調 査 先　①一般社団法人御堂筋まちづくりネットワーク（大阪市）
②栄ミナミまちづくり株式会社（名古屋市）
③名古屋市役所都心まちづくり課
・調査内容　①御堂筋地区の沿道地権者等を中心としたまちづくり事業
②栄ミナミ地区の町内会、商店街等を中心としたまちづくり事業
③Park-PFI 制度による久屋大通公園整備事業

イ　にぎわいづくりイベントに係るモデル事業の実施

「平和大通りにぎわいづくり検討会議」における検討結果を踏まえ、にぎわいづくりイベントを幾つかモデル的に実施し、効果等の検証結果をにぎわいづくりの担い手となる組織の設立に向けた検討に反映した。

(ア)　ドリミネーション・オープンカフェの実施
・実施期間　平成３０年１１月１７日(土)～１２月２４日(月)のうち、週末を中心に１３日間実施。（この他、１２月２２日(土)～２４日(月)には、アートマルシェを実施した。）
・実施場所　平和大通り

(イ)　平和大通り芸術展 Hiroshima ARTery２０１９の開催
・開催期間　平成３１年2月２３日（土）～3月２４日（日）
・開催場所　平和大通り、旧日本銀行広島支店、ホテルサンルート広島、ＡＮＡクラウンプラザホテル広島、エビデンギャラリー、三井ガーデンホテル広島

(写真は、平和大通り芸術展Hiroshima ARTery2019 展示作品の一例)

(ｳ)　平和大通り情報サイトの運営

・開設日　　平成２９年１０月２７日（金）

・アドレス　　https://www.peace-boulevard.jp/

・ページビュー　１０，１９９ページビュー

（平成３０年4月１日から平成３１年3月３１日）

(ｴ)　ブース・ファニチャーの製作

・様々なイベント等で使用できるオリジナル・ファニチャーを製作し、平和大通り芸術展・アートマルシェ（平成３１年３月１６日(土)～１７日(日)）にて初使用した。

（写真は、平和大通り芸術展Hiroshima ARTery2019 アートマルシェでの使用例）

【その他】

Ⅰ　その他事業

１　賛助会員向け事業

(1)　会報の発行

コンベンションの開催情報や当ビューローの活動状況等を掲載した会報「Ｍｏｎｔｈｌｙ Ｎｅｗｓ」を発行し、賛助会員等へ情報提供を行った。（毎月５３０部）

(2)　優良従業員表彰及び賛助会員交流会の実施

賛助会員の企業・団体に勤務する優秀な従業員を表彰し、観光事業及びコンベンション振興事業の健全な発展及び観光客への接遇向上を図った。また、併せて賛助会員交流会を開催し、賛助会員同士の交流を深めた。

ア　優良従業員表彰式

・開 催 日　　平成３１年2月１３日(水)

・会　　場　　リーガロイヤルホテル広島

・受賞者数　　４２人（１６社）

イ　賛助会員交流会

・開 催 日　　平成３１年2月１３日(水)
・会　　場　　リーガロイヤルホテル広島
・参加者数　　１３７人

2　職員の研修事業

研修会等へ職員を派遣し、コンベンション誘致や開催ノウハウを習得した。

・ＪＮＴＯ　ＭＩＣＥセミナー～初級者対象～
派遣期間　　平成３０年5月３０日(水)
研修会場　　トラストシティ・カンファレンス丸の内
派遣人数　　１人

・一般社団法人日本コンベンション協会（ＪＣＭＡ）社員総会及びセミナー
派遣期間　　平成３０年6月１２日(火)
研修会場　　御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター
派遣人数　　１人

・ＪＣＣＢ平成３０年度総会
派遣期間　　平成３０年6月２５日(月)
研修会場　　京王プラザホテル
派遣人数　　３人

・ＪＳＴＡ社員総会及びセミナー
派遣期間　　平成３０年6月２９日(金)
研修会場　　羽田空港第一ターミナル
派遣人数　　１人

・ＪＣＣＢ第１回コンベンション・ビューロー部会
派遣期間　　平成３０年7月１９日(木)～２０日（金)
研修会場　　城山ホテル鹿児島及び鹿児島市内ＭＩＣＥ関連施設等
派遣人数　　１人

・ＪＣＣＢ第２回コンベンション・ビューロー部会及び人材育成研修会
派遣期間　　平成３０年１２月１２日(水)～１４日（金)
研修会場　　日本科学未来館、ＪＮＴＯ会議室、清澄庭園大正記念館
派遣人数　　１人

・ＪＮＴＯ　ＭＩＣＥセミナー～ＡＤＶＡＮＣＥ～
派遣期間　　平成３１年1月１８日(金)
研修会場　　ＴＫＰ品川カンファレンスセンターＡＮＮＥＸ
派遣人数　　１人

・国際観光コンベンションフォーラム in 札幌
派遣期間　平成３１年3月７日(木)～８日(金)
研修会場　札幌市民交流プラザ
派遣人数　１人

３　観光資源の維持管理

観光ライトアップ設備、観光サイン及び「灯和の径」等の維持補修を行った。

（参　考）

無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

ア　土地及び建物

名　　称	所　在　地	区分	現　在　高
広島国際会議場	中区中島町１番５号	土地 建物	駐車場　１２．５０㎡ 事務室等　１６１．３０㎡

第２表　決算報告書

決　算　報　告　書
（平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで）

貸　借　対　照　表
平成３１年３月３１日現在

（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
(1)　現金預金	45,394,839	42,411,841	2,982,998
(2)　未収金	461,270	336,000	125,270
(3)　前払金	57,000	30,000	27,000
(4)　短期貸付金		3,000,000	△ 3,000,000
流動資産合計	45,913,109	45,777,841	135,268
2　固定資産			
(1)　基本財産			
投資有価証券	977,040,040	917,364,040	59,676,000
証券口座預け金		59,988,000	△ 59,988,000
定期預金	759,960	314,810	445,150
普通預金		133,150	△ 133,150
基本財産合計	977,800,000	977,800,000	0
(2)　その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	5	5	0
電話加入権	446,920	446,920	0
敷金	1,818,000	1,818,000	0
長期貸付金	3,000,000	0	3,000,000
その他固定資産合計	5,264,927	2,264,927	3,000,000
固定資産合計	983,064,927	980,064,927	3,000,000
資産合計	1,028,978,036	1,025,842,768	3,135,268
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
(1)　未払金	38,008,538	35,343,163	2,665,375
(2)　未払消費税等	1,492,800	877,700	615,100
(3)　未払法人税等		1,177,100	△ 1,177,100
(4)　前受金	335,160	15,000	320,160
(5)　預り金	2,713,424	3,173,978	△ 460,554
(6)　賞与引当金	10,169,243	8,600,805	1,568,438
(7)　短期借入金		3,000,000	△ 3,000,000
流動負債合計	52,719,165	52,187,746	531,419
2　固定負債			
(1)　長期借入金	3,000,000		3,000,000
(2)　退職給付引当金	66,362,434	65,459,441	902,993
固定負債合計	69,362,434	65,459,441	3,902,993
負債合計	122,081,599	117,647,187	4,434,412
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産			
(1)　寄付金（広島市）	977,800,000	977,800,000	0
指定正味財産合計	977,800,000	977,800,000	0
（うち基本財産への充当額）	(977,800,000)	(977,800,000)	0
2　一般正味財産	△ 70,903,563	△ 69,604,419	△ 1,299,144
正味財産合計	906,896,437	908,195,581	△ 1,299,144
負債及び正味財産合計	1,028,978,036	1,025,842,768	3,135,268

貸借対照表内訳表

平成３１年３月３１日現在

（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
Ⅰ　資産の部					
1　流動資産					
(1)　現金預金	33,664,474	20,628,560	△ 8,898,195		45,394,839
(2)　未収金	461,270				461,270
(3)　前払金	25,700		31,300		57,000
(4)　短期貸付金					0
流動資産合計	34,151,444	20,628,560	△ 8,866,895	0	45,913,109
2　固定資産					
(1)　基本財産					
投資有価証券	866,634,517	56,668,321	53,737,202		977,040,040
証券口座預け金					0
定期預金	674,083	44,079	41,798		759,960
普通預金					0
基本財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
(2)　その他固定資産					
車両運搬具	2				2
什器備品	5				5
電話加入権	393,290	22,346	31,284		446,920
敷金			1,818,000		1,818,000
長期貸付金	3,000,000				3,000,000
その他固定資産合計	3,393,297	22,346	1,849,284	0	5,264,927
固定資産合計	870,701,897	56,734,746	55,628,284	0	983,064,927
資産合計	904,853,341	77,363,306	46,761,389	0	1,028,978,036
Ⅱ　負債の部					
1　流動負債					
(1)　未払金	27,094,314	215,598	10,698,626		38,008,538
(2)　未払消費税等	1,360,300	132,500			1,492,800
(3)　未払法人税等					0
(4)　前受金	335,160				335,160
(5)　預り金	2,384,525	65,284	263,615		2,713,424
(6)　賞与引当金	8,934,572	289,670	945,001		10,169,243
(7)　短期借入金					0
流動負債合計	40,108,871	703,052	11,907,242	0	52,719,165
2　固定負債					
(1)　長期借入金	3,000,000				3,000,000
(2)　退職給付引当金			66,362,434		66,362,434
固定負債合計	3,000,000	0	66,362,434	0	69,362,434
負債合計	43,108,871	703,052	78,269,676	0	122,081,599
Ⅲ　正味財産の部					
1　指定正味財産					
(1)　寄付金（広島市）	867,308,600	56,712,400	53,779,000		977,800,000
指定正味財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
（うち基本財産への充当額）	(867,308,600)	(56,712,400)	(53,779,000)		(977,800,000)
2　一般正味財産	△ 5,564,130	19,947,854	△ 85,287,287		△ 70,903,563
正味財産合計	861,744,470	76,660,254	△ 31,508,287	0	906,896,437
負債及び正味財産合計	904,853,341	77,363,306	46,761,389	0	1,028,978,036

正　味　財　産　増　減　計　算　書
（平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで）

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1　経常増減の部				
(1)　経常収益				
①　基本財産運用益				
基本財産受取利息	16,631,770	17,208,745	△ 576,975	
②　受取会費				
賛助会費受取会費	12,512,500	12,662,500	△ 150,000	
③　事業収益	133,991,625	156,999,201	△ 23,007,576	
売店運営事業収益		29,297,195	△ 29,297,195	
広告事業収益	1,669,000	1,744,000	△ 75,000	
観光親善大使派遣事業収益	449,500	612,000	△ 162,500	
広島市受託収益	131,873,125	125,346,006	6,527,119	
④　受取負担金				
受取負担金	3,156,000	1,975,000	1,181,000	
⑤　受取補助金等				
受取広島市補助金	176,892,237	162,120,093	14,772,144	
⑥　雑収益	130,441	492,100	△ 361,659	
受取利息	441	951	△ 510	
雑収益	130,000	491,149	△ 361,149	
経常収益計	343,314,573	351,457,639	△ 8,143,066	
(2)　経常費用				
①　事業費	291,651,641	321,409,337	△ 29,757,696	
役員報酬	8,115,775	8,052,565	63,210	
給料手当等	133,717,785	125,133,892	8,583,893	
賞与引当金繰入	9,224,242	7,713,129	1,511,113	
退職給付費用	308,400		308,400	
福利厚生費	28,064,153	27,064,656	999,497	
賃金	4,100,984	7,194,387	△ 3,093,403	
報償費	1,325,934	1,785,653	△ 459,719	
普通旅費	7,460,077	10,288,899	△ 2,828,822	
消耗品費等	4,949,008	3,881,418	1,067,590	
燃料費	299,391	242,425	56,966	
食糧費	1,721,702	1,298,342	423,360	
光熱水費	1,052,478	1,099,512	△ 47,034	
修繕料	799,826	515,205	284,621	
通信運搬費	2,501,686	2,792,458	△ 290,772	
手数料等	701,002	1,089,717	△ 388,715	
保険料	316,950	295,720	21,230	
委託料	50,256,797	64,030,754	△ 13,773,957	
使用料及び賃借料	8,443,856	10,990,710	△ 2,546,854	
備品購入費	284,364	22,680	261,684	
負担金、補助及び交付金	22,155,131	24,696,393	△ 2,541,262	
公課費	5,852,100	5,730,400	121,700	
売店商品仕入費		17,484,794	△ 17,484,794	
雑損失		5,628	△ 5,628	

科　　目	当年度	前年度	増　減	備　考
②　管理費	52,962,076	59,795,027	△ 6,832,951	
役員報酬	7,053,905	6,998,959	54,946	
給料手当等	15,882,283	11,262,962	4,619,321	
賞与引当金繰入	945,001	887,676	57,325	
退職給付費用	4,128,296	18,651,431	△ 14,523,135	
福利厚生費	4,140,338	4,259,607	△ 119,269	
賃金	1,488,242	1,147,150	341,092	
報償費	198,000	213,000	△ 15,000	
普通旅費	181,000	147,230	33,770	
交際費	30,000	25,000	5,000	
消耗品費等	350,129	371,968	△ 21,839	
食糧費	63,205	60,984	2,221	
光熱水費	956,573	113,872	842,701	
通信運搬費	1,055,080	847,550	207,530	
手数料等	143,370	148,566	△ 5,196	
委託料	2,254,770	5,887,505	△ 3,632,735	
使用料及び賃借料	10,414,388	4,617,670	5,796,718	
備品購入費		373,680	△ 373,680	
負担金、補助及び交付金	3,606,496	3,709,217	△ 102,721	
公課費	71,000	71,000	0	
経常費用計	344,613,717	381,204,364	△ 36,590,647	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,299,144	△ 29,746,725	28,447,581	
当期経常増減額	△ 1,299,144	△ 29,746,725	28,447,581	
2　経常外増減の部				
(1)　経常外収益	0	0	0	
(2)　経常外費用				
出資金減損損失		993,455	△ 993,455	
経常外費用計	0	993,455	△ 993,455	
当期経常外増減額	0	△ 993,455	993,455	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,299,144	△ 30,740,180	29,441,036	
法人税、住民税及び事業税	0	1,177,100	△ 1,177,100	
当期一般正味財産増減額	△ 1,299,144	△ 31,917,280	30,618,136	
一般正味財産期首残高	△ 69,604,419	△ 37,687,139	△ 31,917,280	
一般正味財産期末残高	△ 70,903,563	△ 69,604,419	△ 1,299,144	
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	977,800,000	977,800,000	0	
指定正味財産期末残高	977,800,000	977,800,000	0	
Ⅲ　正味財産期末残高	906,896,437	908,195,581	△ 1,299,144	

正味財産増減計算書内訳表

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ振興事業	観光振興事業	小計	ﾚｽﾄﾊｳｽ売店運営事業	その他事業	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部									
1　経常増減の部									
(1)　経常収益									
①　基本財産運用益									
基本財産受取利息	14,752,381		14,752,381		964,642	964,642	914,747		16,631,770
②　受取会費									
賛助会費受取会費		12,512,500	12,512,500						12,512,500
③　事業収益	600,000	123,617,725	124,217,725		9,773,900	9,773,900			133,991,625
売店運営事業収益									
広告事業収益	600,000	1,069,000	1,669,000						1,669,000
観光親善大使派遣事業収益		449,500	449,500						449,500
広島市受託収益		122,099,225	122,099,225		9,773,900	9,773,900			131,873,125
④　受取負担金									
受取負担金		2,701,000	2,701,000		455,000	455,000			3,156,000
⑤　受取補助金等									
受取広島市補助金	86,288,408	41,865,222	128,153,630				48,738,607		176,892,237
⑥　雑収益		100,007	100,007		434	434	30,000		130,441
受取利息		7	7		434	434			441
雑収益		100,000	100,000				30,000		130,000
経常収益計	101,640,789	180,796,454	282,437,243	0	11,193,976	11,193,976	49,683,354	0	343,314,573
(2)　経常費用									
①　事業費	97,265,370	182,798,000	280,063,370		11,588,271	11,588,271			291,651,641
役員報酬	3,564,872	4,550,903	8,115,775						8,115,775
給料手当等	43,033,101	85,296,472	128,329,573		5,388,212	5,388,212			133,717,785
賞与引当金繰入	2,949,445	5,985,127	8,934,572		289,670	289,670			9,224,242
退職給付費用	36,000	272,400	308,400						308,400
福利厚生費	8,734,625	18,461,028	27,195,653		868,500	868,500			28,064,153
賃金	1,307,209	2,793,775	4,100,984						4,100,984
報償費	268,241	1,057,693	1,325,934						1,325,934
普通旅費	4,536,400	2,454,757	6,991,157		468,920	468,920			7,460,077
消耗品費等	1,544,609	3,297,440	4,842,049		106,959	106,959			4,949,008
燃料費	186,671	112,720	299,391						299,391
食糧費	327,470	601,183	928,653		793,049	793,049			1,721,702
光熱水費					1,052,478	1,052,478			1,052,478
修繕料	288,575	66,291	354,866		444,960	444,960			799,826
通信運搬費	861,558	1,437,890	2,299,448		202,238	202,238			2,501,686
手数料等	27,700	673,302	701,002						701,002
保険料	115,300	201,650	316,950						316,950
委託料	7,714,293	41,101,419	48,815,712		1,441,085	1,441,085			50,256,797
使用料及び賃借料	2,803,274	5,640,582	8,443,856						8,443,856
備品購入費	284,364		284,364						284,364
負担金、補助及び交付金	18,624,763	3,442,368	22,067,131		88,000	88,000			22,155,131
公課費	56,900	5,351,000	5,407,900		444,200	444,200			5,852,100
売店商品仕入費									0
雑損失									0

科目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ振興事業	観光振興事業	小計	ﾚｽﾄﾊｳｽ売店運営事業	その他事業	小計			
② 管理費									
役員報酬							52,962,076		52,962,076
給料手当等							7,053,905		7,053,905
賞与引当金繰入							15,882,283		15,882,283
退職給付費用							945,001		945,001
福利厚生費							4,128,296		4,128,296
賃金							4,140,338		4,140,338
報償費							1,488,242		1,488,242
普通旅費							198,000		198,000
交際費							181,000		181,000
消耗品費等							30,000		30,000
食糧費							350,129		350,129
光熱水費							63,205		63,205
通信運搬費							956,573		956,573
手数料等							1,055,080		1,055,080
委託料							143,370		143,370
使用料及び賃借料							2,254,770		2,254,770
備品購入費							10,414,388		10,414,388
負担金、補助及び交付金									0
公課費							3,606,496		3,606,496
経常費用計	97,265,370	182,798,000	280,063,370	0	11,588,271	11,588,271	52,962,076	0	344,613,717
評価損益等調整前当期経常増減額	4,375,419	△ 2,001,546	2,373,873	0	△ 394,295	△ 394,295	△ 3,278,722	0	△ 1,299,144
当期経常増減額	4,375,419	△ 2,001,546	2,373,873	0	△ 394,295	△ 394,295	△ 3,278,722	0	△ 1,299,144
2 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									0
(2) 経常外費用									
出資金減損損失									0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額			0			0			0
税引前当期一般正味財産増減額	4,375,419	△ 2,001,546	2,373,873	0	△ 394,295	△ 394,295	△ 3,278,722	0	△ 1,299,144
法人税、住民税及び事業税			0			0			0
当期一般正味財産増減額	4,375,419	△ 2,001,546	2,373,873	0	△ 394,295	△ 394,295	△ 3,278,722	0	△ 1,299,144
一般正味財産期首残高	2,641,742	△ 10,579,745	△ 7,938,003	20,676,527	△ 334,378	20,342,149	△ 82,008,565		△ 69,604,419
一般正味財産期末残高	7,017,161	△ 12,581,291	△ 5,564,130	20,676,527	△ 728,673	19,947,854	△ 85,287,287	0	△ 70,903,563
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
指定正味財産期末残高	867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
Ⅲ 正味財産期末残高	874,325,761	△ 12,581,291	861,744,470	20,676,527	55,983,727	76,660,254	△ 31,508,287	0	906,896,437

財務諸表に対する注記

1　重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は取得価額による原価法を採用している（償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。）。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品……最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価の切り下げの方法により算定）によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び什器備品……定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員の賞与の支給に備えるため、支給対象期間に対応する支給見込額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2　基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	917,364,040	5,676,000	0	977,040,040
証券口座預け金	59,988,000	0	59,988,0000	0
定期預金	314,810	445,150	0	759,960
普通預金	133,150	0	133,150	0
合　　計	977,800,000	60,121,150	60,121,150	977,800,000

3　基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
投資有価証券	977,040,040	(977,040,040)	(　　－)	(　　－)
定期預金	759,960	(759,960)	(　　－)	(　　－)
合　　計	977,800,000	(977,800,000)	(　　－)	(　　－)

4　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	2,088,500	2,088,498	2
什器備品	851,581	851,576	5
合　　計	2,940,081	2,940,074	7

5　満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　　価	評価損益
第３０１回利付国債	45,422,560	45,517,795	95,235
第１０９回利付国債	295,413,000	359,730,000	64,317,000
第１２１回利付国債	296,391,000	366,060,000	69,669,000
第１５９回利付国債	80,601,480	85,803,300	5,201,820
第１６４回利付国債	59.676,000	62,148,000	2,472,000
第６回道路機構債	199,536,000	207,460,000	7,924,000
合　　計	977,040,040	1,126,719,095	149,679,055

6　補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ振興事業補助金	広島市	0	72,169,180	72,169,180	0	－
観光事業補助金	広島市	0	27,562,000	27,562,000	0	－
管理運営補助金	広島市	0	77,161,057	77,161,057	0	－
合　　計		0	176,892,237	176,892,237	0	

附　属　明　細　書

1　基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記の「２　基本財産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2　引当金の明細
引当金の明細は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	65,459,441	4,076,696	3,173,703	0	66,362,434
賞与引当金	8,600,805	10,169,243	8,600,805	0	10,169,243

財　産　目　録

平成３１年３月３１日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	預金	普通預金　広島銀行大手町支店	運転資金として	28,770,286
		広島信用金庫八丁堀支店	〃	5,062,236
		もみじ銀行広島中央支店	〃	8,000,046
		広島市信用組合本店営業部	〃	562,162
		定期預金　広島信用金庫八丁堀支店	〃	3,000,000
		広島市信用組合本店営業部	〃	109
	未収金	広告掲載業者ほか	広告掲載料等の未収分	461,270
	前払金	退職共済積立金等	職員の退職共済積立金等	57,000
流動資産合計				45,913,109
（固定資産）				
基本財産	投資有価証券	第３０１回利付国債	満期保有目的の共用財産であり、運用益の８８．７％を公益目的事業に、５．５％を管理運営に、５．８％をその他事業に供している。	45,422,560
		第１０９回利付国債	〃	295,413,000
		第１２１回利付国債	〃	296,391,000
		第１５９回利付国債	〃	80,601,480
		第１６４回利付国債	〃	59,676,000
		第６回道路機構債	〃	199,536,000
	定期預金	広島市信用組合本店営業部	共用財産であり、運用益の８８．７％を公益目的事業に、５．５％を管理運営に、５．８％をその他事業に供している。	759,960
その他固定資産	車両運搬具	車両２台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	2
	什器備品	パソコン２台、歓迎用看板土台１基、スーツケース２個	〃	5
	電話加入権	電話８回線	共用財産であり、８８％を公益目的保有財産として公益目的事業に、７％を管理運営に、５％を収益等事業に供している。	446,920
	敷金	広島商工会議所	広島商工会議所ビル内事務室の賃借契約に基づく敷金	1,818,000
	長期貸付金	研究支援担当専門職能団体の国際ネットワーク2020年世界大会	コンベンション開催準備資金の貸付	3,000,000
固定資産合計				983,064,927
資産合計				1,028,978,036
（流動負債）				
	未払金	厚生労働省年金局（広島東）ほか	平成３０年度社会保険料等の未払分	38,008,538
	未払消費税等	広島西税務署	平成３０年度消費税等の未払分	1,492,800
	前受金	賛助会員	翌年度の賛助会費の預り金	335,160
	預り金	職員、臨時職員、パート等	源泉徴収所得税等の預り金	2,713,424
	賞与引当金	職員	役員、職員に対する賞与支払いに備えたもの	10,169,243
流動負債合計				52,719,165
（固定負債）				
	長期借入金	広島市からの借入金	コンベンション開催準備資金	3,000,000
	退職給付引当金	職員	職員１７名に対する退職金の支払いに備えたもの	66,362,434
固定負債合計				69,362,434
負債合計				122,081,599
正味財産合計				906,896,437

収　支　計　算　書

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備　　考
Ⅰ　事業活動収支の部				
1　事業活動収入				
(1)　基本財産運用収入				
①基本財産利息収入	16,566,000	16,631,770	△ 65,770	
(2)　会費収入				
①賛助会費収入	12,602,000	12,512,500	89,500	
(3)　事業収入	6,170,000	4,825,000	1,345,000	
①広告収入	2,790,000	1,669,000	1,121,000	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ広告収入等の減
②負担金収入	3,380,000	3,156,000	224,000	
(4)　補助金収入				
①広島市補助金収入	192,847,000	176,892,237	15,954,763	事業費等の減
(5)　受託事業収入				
①広島市受託事業収入	134,996,000	131,873,125	3,122,875	事業費等の減
(6)　雑収入				
①雑収入	628,000	579,941	48,059	
(7)　貸付金返還収入				
①コンベンション開催準備資金貸付金返還収入	3,000,000	3,000,000	0	
(8)　他会計からの繰入金収入				
①収益事業等会計からの繰入金収入			0	
事業活動収入計	366,809,000	346,314,573	20,494,427	
2　事業活動支出				
(1)　コンベンション振興事業費支出	112,524,000	96,858,934	15,665,066	
①情報収集事業費支出	2,708,670	2,168,190	540,480	
②コンベンションの誘致･支援事業費支出	36,199,577	26,396,873	9,802,704	負担金、補助及び交付金等の執行残
③広報・宣伝事業費支出	4,634,000	2,991,314	1,642,686	負担金、補助及び交付金等の執行残
④調査・企画事業費支出	546,000	431,672	114,328	
⑤事務費支出	1,262,753	1,249,315	13,438	
⑥人件費支出	67,173,000	63,621,570	3,551,430	給料手当等の執行残
(2)　観光事業費支出	60,477,000	59,613,830	863,170	
①観光客の受入態勢整備事業費支出	4,093,000	3,951,543	141,457	
②観光資源整備・開発事業費支出	610,000	600,000	10,000	
③観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	13,754,200	13,330,285	423,915	
④事務費支出	3,021,783	3,008,844	12,939	
⑤人件費支出	38,998,017	38,723,158	274,859	
(3)　受託事業費支出				
①観光施設管理運営等受託事業費支出	134,996,000	131,873,125	3,122,875	事業費等の執行残
(4)　貸付金支出				
①コンベンション開催準備資金貸付金支出	8,000,000	3,000,000	5,000,000	貸付件数減による執行残

科　　目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備　　考
(5) その他事業費支出	2,095,000	1,794,639	300,361	
① 賛助会員向け事業費支出	1,308,000	1,237,719	70,281	
② 職員の研修事業費支出	787,000	556,920	230,080	
(6) 管理費支出	52,960,000	52,001,758	958,242	
① 会議費支出	701,000	538,374	162,626	
② 事務費支出	20,724,000	20,273,879	450,121	
③ 人件費支出	31,535,000	31,189,505	345,495	
(7) 他会計への繰入金支出				
① 公益目的事業会計等への繰入金支出			0	
事業活動支出計	371,052,000	345,142,286	25,909,714	
事業活動収支差額	△ 4,243,000	1,172,287	△ 5,415,287	
Ⅱ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
(1) 借入金収入	19,000,000	6,000,000	13,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金収入	11,000,000	6,000,000	5,000,000	広島市からの借入金収入の減
② 一時借入金収入	8,000,000		8,000,000	金融機関からの借入金収入の皆減
財務活動収入計	19,000,000	6,000,000	13,000,000	
2 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出	14,000,000	6,000,000	8,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金返済支出	11,000,000	3,000,000	8,000,000	広島市への借入金返済支出の減
② 一時借入金返済支出	3,000,000	3,000,000	0	
財務活動支出計	14,000,000	6,000,000	8,000,000	
財務活動収支差額	5,000,000	0	5,000,000	
Ⅲ 予備費支出	1,000,000	0	1,000,000	
当期収支差額	△ 243,000	1,172,287	△ 1,415,287	
前期繰越収支差額	422,000	2,190,900	△ 1,768,900	
次期繰越収支差額	179,000	3,363,187	△ 3,184,187	

収　支　計　算　書　内　訳　表

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合　　計
Ⅰ　事業活動収支の部					
1　事業活動収入					
基本財産運用収入					
基本財産利息収入	14,752,381	964,642	914,747		16,631,770
会費収入					
賛助会費収入	12,512,500				12,512,500
事業収入	4,370,000	455,000			4,825,000
広告収入	1,669,000				1,669,000
負担金収入	2,701,000	455,000			3,156,000
補助金収入					
広島市補助金収入	128,153,630		48,738,607		176,892,237
受託事業収入					
広島市受託事業収入	122,099,225	9,773,900			131,873,125
雑収入					
雑収入	549,507	434	30,000		579,941
貸付金返還収入					
コンベンション開催準備資金貸付金返還収入	3,000,000				3,000,000
他会計からの繰入金収入					
収益事業等会計からの繰入金収入					
事業活動収入計	285,437,243	11,193,976	49,683,354	0	346,314,573

（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
2 事業活動支出					
コンベンション振興事業費支出	96,858,934				96,858,934
情報収集事業費支出	2,168,190				2,168,190
コンベンションの誘致・支援事業費支出	26,396,873				26,396,873
広報・宣伝事業費支出	2,991,314				2,991,314
調査・企画事業費支出	431,672				431,672
事務費支出	1,249,315				1,249,315
人件費支出	63,621,570				63,621,570
観光事業費支出	59,613,830				59,613,830
観光客の受入態勢整備事業費支出	3,951,543				3,951,543
観光資源整備・開発事業費支出	600,000				600,000
観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	13,330,285				13,330,285
事務費支出	3,008,844				3,008,844
人件費支出	38,723,158				38,723,158
受託事業費支出					
観光施設管理運営等受託事業費支出	122,099,225	9,773,900			131,873,125
貸付金支出					
コンベンション開催準備資金貸付金支出	3,000,000				3,000,000
その他事業費支出		1,794,639			1,794,639
賛助会員向け事業費支出		1,237,719			1,237,719
職員の研修事業費支出		556,920			556,920
管理費支出			52,001,758		52,001,758
会議費支出			538,374		538,374
事務費支出			20,273,879		20,273,879
人件費支出			31,189,505		31,189,505
他会計への繰入金支出					
公益目的事業会計等への繰入金支出					
事業活動支出計	281,571,989	11,568,539	52,001,758	0	345,142,286
事業活動収支差額	3,865,254	△ 374,563	△ 2,318,404	0	1,172,287

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合　　計
Ⅱ　財務活動収支の部					
1　財務活動収入					
借入金収入	6,000,000				6,000,000
コンベンション開催準備資金借入金収入	6,000,000				6,000,000
一時借入金収入	0				0
財務活動収入計	6,000,000	0	0	0	6,000,000
2　財務活動支出					
借入金返済支出	6,000,000				6,000,000
コンベンション開催準備資金借入金返済支出	3,000,000				3,000,000
一時借入金返済支出	3,000,000				3,000,000
財務活動支出計	6,000,000	0	0	0	6,000,000
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
Ⅲ　予備費支出	0	0	0	0	0
当期収支差額	3,865,254	△ 374,563	△ 2,318,404	0	1,172,287
前期繰越収支差額	△ 1,039,767	20,589,741	△ 17,359,074	0	2,190,900
次期繰越収支差額	2,825,487	20,215,178	△ 19,677,478	0	3,363,187

収支計算書に対する注記

1　資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、立替金、未払金、未払消費税等、未払法人税等、前受金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記２に記載するとおりである。

2　次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

（単位：円）

科目		前期末残高	当期末残高
資産	現金預金	42,411,841	45,394,839
	未収金	336,000	461,270
	前払金	30,000	57,000
	立替金	0	0
	合計	42,777,841	45,913,109
負債	未払金	35,343,163	38,008,538
	未払消費税等	877,700	1,492,800
	未払法人税等	1,177,100	0
	前受金	15,000	335,160
	預り金	3,173,978	2,713,424
	合計	40,586,941	42,549,922
次期繰越収支差額		2,190,900	3,363,187

監　査　報　告　書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
理事長　　深　山　英　樹　　様

令和元年５月１６日

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

監　事　　曽　川　祐　治

監　事　　隈　元　泰　治

私たち監事は、平成３０年度公益財団法人広島観光コンベンションビューローの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

１　監査の方法及びその内容

⑴　会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び財産目録等の正確性を検討した。

⑵　業務監査について、監事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

２　監査意見

⑴　貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。

⑵　事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

⑶　理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。